

平成 19 年 12 月 5 日



日本ORC協会 計測事務局

ORC レーティングを取得されている艇のオーナーもしくは代理の皆様  
ORC レーティングを使用してレースを主催する団体の皆様  
ORC 計測担当者の皆様  
ORC セールメーカーならびにメジャーの皆様  
ヨット デザイナー、製造関係、販売関係 の皆様

## 2008 年度 ORC - International の発表について

先日、ORC本社より 2008 年度の レーティングに関する発表が出されましたが、その内容に関して ORC本社と話しましたので以下のように報告いたします。

ORC International とは現在のIMS システムをベースにし、最も基本となるVPP について最新の空力学、船体粘性抵抗などの最新研究結果を反映し、ソフトウェア的にも ウィンドウズに適応すべく、書き換えたプログラムで、計測入力からスコアリング システムまで一環した 総合ソフトウェアとして完成させたものです。よって現在のIMSシステムがなくなり新システムへ移行というものではありません、IMSの大幅なアップグレード といえます、またMeasuring Rule や測定の方法には何の変更も有りません。

ただ、以下に説明するように、艇速評価方法が変わるため IMS艇 ORC - Club艇ともに大きくレーティングが影響する可能性があります。

その更新されたVPP 版については 日本ORC協会へ 近日中に本社から発送される予定ですので、各艇の皆様に対し、2008 年度のセール変更や艇の改造など 早めの便宜を図る目的で 今年に限り2008 年度の正規版証書を発行受付(2008 年 3 月予定)する前に新ORC - I(ORC - International) による試算を受け付けますので、ご希望の艇はORCAN 計測事務局へ申し込みください。但し 版による試算ですから 正規の証書発行時点で 若干の数値の差が出ることをご了解ください。

試算は IMS艇 ORC - Club艇 共に受け付けます。受付は <http://www.orcan.org/> IMS 試算申込書を参照してください。

VPPの技術的変更は

1. ヒール状態での セールの推進力 の評価内容の変更
  2. Code 0 セールの計算
  3. 艇の海水に対する粘性抵抗 の評価内容の変更
  4. 艇の腰の強さに対する評価内容の変更
  5. ウイングキール、バルブキールのドラフト効果の評価値の変更
- などが主なるものです。

新しい評価内容の変更によって、ORCルールはスローで重いヨットに有利であるという風評は消え、軽く頑丈でセール面積の大きな場合でも正確にまた公平に評価されると言うことになります。よって典型的なプロダクションヨットであるクルーザーレーサー型より、レーシング型のヨットに有利に出てくると思います。ORCチーフメジャーの Nicola 氏の説明によると、現在のフリートにおいては平均的に 4 - 6 Sec GPH で早くなると言っています(あくまで平均的です、また過去毎年の VPP 変更も 4~5 秒は出ていました)。ただ、J - ボートなどは現在の VPP でペナルティーが多すぎたと言えるでしょう。新しい VPP では例えば、Holland デザインによる Polaris 33、40 年前のデザインによる S & S の Sunstone など今まで IMS フリートで勝ってきた艇は厳しくなる事は明確です、最悪では 10sec/mile ほど早く出る艇が現れるとも言っています。

ドイツの X - 332 は「ワンレースで同時に違った種類のレーティングを使うと言う(Same Entry)間違えた選択を行う事は、この新しい VPP によって解消された、結果としてしばらくはフリートが二極化するであろうが、将来唯一のレーティング システムが世界で共通して使われるよき時代に戻れる」このように述べています。

ORC - Club レーティングシステムについても ORC 本社は IMS に対する簡易型レーティングシステムとして継続していきますが、基本の計算機能は同じ VPP を使用します。

同時に ORC - Club 証書の表記が変更になり実際の艇のピクチャーと比例した図が表記されます、またセール面積、セールリミット、スピンの構成なども表記されます。

現在お持ちの 2007 年度証書からの変更無し更新については、IMS、ORC クラブともにそのまま更新できます、新たな計測は必要ありません。IMS 2008 証書の代わりに ORC - International 2008 が発行されると思って頂いてよろしいと思います。

Default 以下の Spinnaker についての評価方法は 2007 年と変わりませんが、2007 年以前の証書では ASL のみしか表記されていません、セールスタンプに表記される SLU、SLE を入力する事によってさらにどのくらいレーティングを変えずに面積を増加できる余裕があるか計算できます。

スタビリティー証書、パフォーマンスパッケージなどの新サービスについての詳しい発表はもう少しお待ちください。

以上 報告

平成 19 年 12 月 4 日

日本 ORC 協会 チーフメジャー 富田 稔